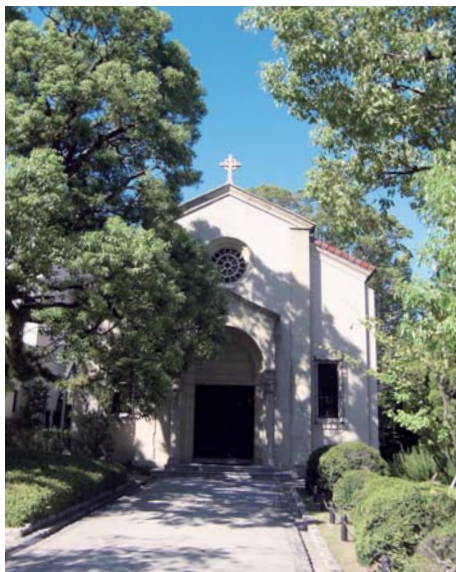


チャペル週報

神はわたしたちの避けどころ、
わたしたちの砦。苦難のとき、
必ずそこにいまして助けてくださる。

(詩編46:2)



2010.10.25.~10.29 No.20
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 10月25日(月) 神 青 木 麻里子(神4)
経 音楽チャペル バロックアンサンブル
人 嶺 重 淑(宗教主事)
短大 聖書物語「ライオンとダニエル」
-
- 10月26日(火) ランバスチャペルアワー「関西学院大学神戸三田キャンパスについて」
ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
神 ランバスチャペルアワーに合流
文 音楽チャペル バロックアンサンブル
社 共に生きる① Ruth M. Grubel(院長)
法 ランバスチャペルアワーに合流
商 ランバスチャペルアワーに合流
国 音楽チャペル 関西学院聖歌隊
教 嶺 重 淑(人間福祉学部宗教主事)
総 松 村 寛一郎(総合政策学部准教授)
-
- 10月27日(水) 神 David Wider(神学部教授)
社 インドネシアでのワークキャンプ報告 上ヶ原ハビタット
法 瞑想 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
経 「人間を考える③」原 田 哲 史(経済学部教授)
商 English Chapel Timothy Boyle(宣教師)
人 駒 木 亮(奄美大島・名瀬教会牧師)
教 聖和キャンパス聖歌隊「ともに喜び歌おう」
理 「キリスト教とわたし」大 村 克 己(神戸三田キャンパス事務室課長)
総 Eco-Habitat 関西学院による活動報告
-
- 10月28日(木) 神 バロックアンサンブルによる音楽チャペル
文 アンドレアス・ルスターホルツ(宗教主事)
社 秋の音楽チャペル① 聖歌隊
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
国 平 林 孝 裕(宗教主事)
総 亀 田 啓 悟(総合政策学部准教授)
短大 関西学院グリーククラブ「校歌 空の翼」
-
- 10月29日(金) 院 小 川 晃 司(保健館職員)
神 宗教総部によるチャペル
文 English Chapel Andreas Rusterholz(宗教主事)
経 Music Chapel Timothy Dale Boyle(宣教師)
人 宗教総部
教 田 淵 結(宗教主事)
理 「何もしてはいけない」松 木 真 一(宗教主事)
-

現代人にとって宗教改革の意味は？

李 恩 子

NHKのドキュメンタリープログラムの一つに「その時歴史が動いた」というものがある。多くの人が聞いたり観たりしたことがあるはずだ。たまたまではあるが、私も何度か観た事がある。

歴史的人物の秘話などを紹介するこのプログラムはへたな学問書を読むより勉強になることがある。番組内容の良さもさることながら何とんでもこのタイトルを見るたびある種の感慨にひたる。自分の生と直結する過去の様々な歴史的「事件」が思い起こされ、胸が熱くなるのだ。

現代人の宿命か惰性か、日常生活の忙しさに追われる私たちは、その日常的課題のなかで流され、あるいは満足し、往々にして自らが歴史的存在であるということを忘れがちになる。だが、このようなタイトルに触れると、あらためて歴史とのかかわりとは何なのだろうか、もっと言えば、私たち一人一人がどのように歴史にかかわるべきなのかという内的質問を喚起させる。

16世紀、ヨーロッパ中世末期に宗教改革の源流をなしたマルティン・ルターが残した有名な言葉の中に「ここに私は立つ」というものがある。短いこの言葉の中にルターの信仰の深さと意思の強さを読み取ることができる。

人間が持つ資質の中で最も崇高なものの一つが「意思・will」だと言われるがそれはどのようにすれば、鍛錬され研磨することができるのだろうか？

未踏の分野で新しいことに挑戦する意思、権力に迎合しないで古い悪弊を改革しようとする意思、自己の内面を省み、その矛盾を克服しようとする意思、足元の様々な問題の一つずつ、丁寧に応答し変革していこうとする意思など、私たちが能動的に行動を起こし、改革し、チャレンジしていくべきことは山ほどある。

10月31日を宗教改革記念日として祝うプロテスタント教会の教派、またいくつかの国ではこの日を休日としているところもあるが、「改革」の意味を宗教にのみ限定せず、私たちが歴史に向き合う存在として今なにをすべきなのかを考えさせる記念日でありたい。

(国際学部准教授・宣教師)

●2010年度大学主催秋季人権問題講演会

総合テーマ：Culture of Human Rights－人権文化を育む

1.日 時：11月11日(木) 11:10～12:40

場 所：西宮上ヶ原キャンパスG号館301号教室

講 師：生田武志氏(野宿者ネットワーク代表)

題 目：「貧困を考えよう・こどもと野宿者の視点から」

2.日 時：11月11日(木) 15:10～16:40

場 所：神戸三田キャンパスⅡ号館201号教室

講 師：生田武志氏(野宿者ネットワーク代表)

題 目：「貧困を考えよう・こどもと野宿者の視点から」

手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

●第185回ランバス演奏会のご案内

リコーダー・アンサンブル「レアル」コンサート

と き：11月11日(木) 17:30開演

と ころ：ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

主 催：関西学院宗教センター <入場無料>

「レアル」は本学応援団総部吹奏楽部の卒業生が中心となって1997年に結成されたアンサンブルです。リコーダーだけでなくヴァイオリン、チェンバロ、オカリナ、パンフルートなど多彩な編成で様々な時代、ジャンルの音楽に取り組んでいます。

●2010年度人権教育研究室研究部会 第2回公開研究会

「貧困の連鎖を断つために－人権教育を通じて何ができるのか?－」

と き：11月15日(月) 15:10～18:20

と ころ：西宮上ヶ原キャンパス 図書館ホール

主 催：関西学院大学人権教育研究室

基調報告：「子どもの貧困と学校の役割～反貧困学習を通して」肥下彰男(西成高等学校教諭)

トークセッション：肥下彰男(西成高校教諭)、土田朋水(ビッグイシュー)、川村暁雄(人間福祉学部)

コーディネーター：阿部 潔(社会学部)

●ランバスチャペルアワー

学部を超えて集まった学生主体のチャペルがランバスチャペルアワーです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月26日(火)

11月30日(火)

いずれもランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)にて10:35～11:05

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。

(18:00～18:20 1405教室)

10月29日(金) 樋口 進(宗教センター宗教主事)

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日に教職員と学生有志による礼拝が行われます。一部英語を用いる形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

11月14日(日) 10:00～11:00

11月28日(日) 10:00～11:00

関西学院会館ベーツチャペル